

令和元年度 入札監視委員会議事概要

東北防衛局

開催日及び場所	令和元年12月10日(火) 仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長：鈴木利夫(大学教授) 委員長代理：赤石雅英(公認会計士・税理士) 委員：伊東満彦(弁護士) 委員：石綿はる美(大学院准教授)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	東北防衛局：平成31年4月1日～令和元年9月30日
審議対象件数	57件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	4件(契約件数15件)	(審議概要)
建設工事	一般競争	0件
	一般競争(政府調達協定対象外)	3件(契約件数6件)
	公募型指名競争	0件
	指名競争	0件
	企画競争	0件
建設コンサルタント業務等	1件(契約件数9件)	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>○工事 ◇一般競争契約(政府調達協定対象外)</p> <p>【三沢飛行場周辺地区除草等工事(第1工区)ほか3件】</p> <p>・三沢飛行場周辺地区除草等工事については29年度は4工区あったものが30年度では2工区に、三沢対地射爆撃場周辺地区除草等工事については29年度は2工区あったものが1工区に、それぞれ減っているがその理由はどのようなものか。</p>	<p>・三沢飛行場周辺及び三沢対地射爆撃場周辺の当局が管理する国有地については、平成29年度からその一部を牧草地として地元自治体に使用許可をしており、平成30年度にはその面積が更に拡大し、当局が除草する面積が減少したこと及び業務の効率化を踏まえ、発注する工区数を減らしたものである。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・29年度には八戸飛行場の1工区を含め7工区あったが、30年度は説明があったとおり4工区になっている。</p> <p>30年度では、その4件の事案について29年度の入札に参加していた9～10者が入札に参加し、4者がそれぞれ1件を落札し、複数の事案を落札した業者はいなかった。</p> <p>本年度は、30年度と同じ4件の事案について、30年度に参加した9者のみで入札が行われたが、結果は30年度に落札した業者はおらず、複数の事案を落札した業者もいなかった。</p> <p>また、落札した業者以外は予定価格超過となっている事案も複数件見受けられた。</p> <p>毎年度、同じような作業内容の事案を発注し、入札参加者の顔触れが変わらない状況は、談合が発生しやすい土壌であると思うが、そのチェックはどのようにしているのか。</p> <p>・平成29年度及び平成30年度には入札金額が予定価格に比べ相当低額であったため低入札価格調査を実施している案件が発生しているが、両年度は新規参入業者がいたようである。</p> <p>一般的な例示として、新規参入業者があった際に落札率が低下する場合は談合の可能性を否定できないものとされている。</p> <p>・低入札価格調査の実施が必要となる低い金額で入札した業者が、別の工区の入札では予定価格より高い金額で入札している例がある。落札したい意向があり入札に参加しているのなら不自然な行為ではないか。</p> <p>・作業内容が変わらない事案を毎年発注し、入札参加者の顔触れが変わらない状況は好ましいことではないことから、新規参入を促すような取組をされたい。</p> <p>【仙台外(31) 宿舎改修等機械工事】</p> <p>・本件は、初回の公告時は入札参加業者がなく不成立となり、再公告時は1者入札案件となったものであるが、初回入札時に不成立となったのは何故か。</p>	<p>・当局としても、現状は談合が起こり得る環境であるとの認識はしているところであり、各種の分析を行い検証している。</p> <p>・当方としてもそのような例示は承知しているが、本件の入札事務手続は電子入札システムにより実施されており、入札の執行場所に参加業者が一同に集まり札を入れるといういわゆる紙入札方式ではないため、入札に参加する業者は他の参加者を知ることができないようになっている。</p> <p>このため、新規参入業者の有無と低落札率の関係で談合の有無を推認することは困難である。</p> <p>・推測ではあるが、1工区分の業務量は利益があまり見込めなくても確保したいが、1件落札できれば2件目以降については利益の確保を優先に高めの金額で入札することも考えられる。</p> <p>・当方としては、工区数を4つに変更してから2年であり入札結果のデータも少ないが、今後もデータの整理・分析を継続して実施していく。</p> <p>また、新規業者の参入に向けPRに努めていきたい。</p> <p>・近隣の業者に聞いたところ、配置技術者が確保ができず入札に参加できなかったとのことであり、震災復旧、豪雨等の災害復旧及び未だオリンピック関連施設の工事</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・工事概要を見ると仙台地区の宿舎と松島基地の気象レーダー局舎の機械設備工事となっている。公務員宿舎とレーダー施設と異質なものの組み合わせに思えるが、そのようなことが再公告及び1者入札となった要因ではないのか。</p> <p>・発注規模の傾向としては、ロットを大きくする方向なのか。</p> <p>【岩手(元)仮設建物設置工事】</p> <p>・本件は、初回の公告時の入札では価格が合わず不調となり再公告をしたものであるが、再公告に際し、どのような不調対策をしたのか。</p> <p>・参加要件のハードルを下げて新規参入業者を増やしていくことは競争性の確保に必要なことであり努力していただきたい。</p> <p>・仮設プレハブ建物の設置であり、単純な内容と思えるが業者にとっては魅力のない案件なのか。</p>	<p>などが影響していると考えている。</p> <p>また、全国的に技術者の不足が継続しており当面はこのような状況が継続するものと思っている。</p> <p>なお、落札した業者に聞いたところ、本件が不調になってから再入札するまでの間に完成する工事があり、技術者確保の目途が立ったため本件入札に参加できたとのことであった。</p> <p>・工事をする建物の用途に違いはあるが、工事内容は換気設備や水道設備等の汎用な資材を使用する一般的なものであり、再公告及び1者入札となった要因ではないと考えている。</p> <p>松島基地の気象レーダー局舎については、工事の規模が小さいため、単体で発注した場合、近年の傾向から応札する業者がいないことが想定されるため、他の工事に併せロットを大きくして発注したものである。</p> <p>・三沢基地関連では比較的小規模な工事でも受注してもらえるが、他の地域では難しいため、工事の規模や工程を検討の上、発注ロットを大きくすることもある。</p> <p>・入札の参加要件における施工実績を緩和した。なお、本事案は総合評価落札方式ではなく、価格競争であり国や地方自治体の実績が無くても参加できる。</p> <p>・可能なものは積極的に対応していきたい。</p> <p>・当方としては、仮設建物であるためリユースの資材で問題ないが、業者が保有している在庫で足りない分は新品を調達して対応せざるを得ず、価格が上昇する要因となってしまう。</p> <p>災害復旧等でプレハブ建物の需要は逼迫し、需給バランスが崩れているため、単純な内容の工事ではあるものの不調や応札者が少ない状況となっている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>○コンサルタント業務 ◇一般競争契約（政府調達協定対象外） 【三沢米軍(31)格納庫(0414)新設測量調査ほか8件】</p> <p>・ 審議する9件の契約において、その業務内容は「測量及び既設構造物調査」、「ボーリング調査」、「土質調査（CBR試験）」、「孔内水平載荷試験」、「各種土質試験」等が組み合わされて1つの契約となっているが、それぞれどのような調査なのか。 また、それぞれの組み合わせにより、契約件名を「測量調査」、「測量等調査」及び「土質調査」としているが、使い分けはどのようにしているのか。</p> <p>・ 9件の契約の中には、同じ建物を新設するための調査として、履行期限が同じで「測量及び既設構造物調査」と「土質調査（CBR試験）」を組み合わせ「測量調査」として1契約、「ボーリング調査」と「孔内水平載荷試験」を組み合わせ「土質調査」として1契約としているものがある。 他の契約では「測量及び既設構造物調査」、「土質調査（CBR試験）」及び「ボーリング調査」を1契約としているものも見受けられるが、2つの契約に分けた理由は何か。</p> <p>・ 三沢関係の案件では、ボーリング調査と孔内水平載荷試験を行う土質調査（A案件）と重複する工期でボーリング調査を含んだ測量調査（B案件）を発注している。 B案件のボーリング調査をA案件に含めることはできなかったのか。</p>	<p>・ 測量調査は、測量、既設構造物調査を主とし必要に応じCBR試験を含めた業務。 土質調査は、ボーリング調査を主とし、必要に応じて孔内水平載荷試験、土質試験を含めた業務。 測量等調査は、測量、既設構造物調査を主とし、状況に応じて小規模なボーリング調査を含めた業務である。 なお、契約件名については、測量業と地質（土質）調査業はそれぞれ別の法令等に規定されており、業者の登録も別々の区分となっていることから、測量調査と土質調査の2つに大別している。</p> <p>・ 測量調査と土質調査では必要な技術者の資格及び使用する機材等が異なることから、その後の建設工事等が同じものであっても、それぞれの調査を専門としている業者を対象に発注した方が競争性が期待できることから原則分離して発注している。 なお、業務規模が小さい案件などで競争性が期待できない場合は合併することもある。</p> <p>・ A案件は、三沢米軍の案件であり、調査のための施設内への立入手続は落札業者が決定してから米軍に行うが、許可が出るまでに長期間を要する場合があります。立入許可が短期間で得られる自衛隊関係のB案件と組み合わせられた場合、連続してボーリング調査ができるよう工程を調整することが困難となることが想定されるため、三沢米軍の案件とそれ以外の施設の案件は組み合わせないようにしている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・「岩手外(30補)庁舎新設等土質調査」(C案件)では、岩手と福島で「ボーリング調査」と「孔内水平載荷試験」を実施しているが、履行期限が同じ「福島外(31)給水施設新設等測量等調査」(D案件)においても福島で「ボーリング調査」を実施している。どちらかの契約に「ボーリング調査」を纏めることはできなかったのか。</p>	<p>また、A案件のボーリング調査の目的は建物の支持杭検討のためのものであり、B案件は地盤沈下の原因究明のためのものであり、ボーリングをした後の調査検討も異なる。</p> <p>なお、A案件については契約してから4ヶ月近く経過しているが未だ米軍の立入許可は出ていないが、B案件については既に完了している。</p> <p>・C案件は平成30年度の補正予算の案件であり、D案件は令和元年度予算の案件であり、工期がほぼ同じであったが調査の計画年度が異なっていた。</p> <p>「ボーリング調査」は新設する建物等の単位で必要な調査を発注しがちであるが、委員の指摘を踏まえ、総合的な視点で計画立案することが必要であることを改めて認識した。</p>
	<p>(総括)</p> <p>・本日審議をした1件目の「三沢飛行場周辺地区除草等工事(第1工区)ほか3件」については、入札状況についてデータの整理の仕方では規則性があるようにも見受けられ、また、過去においては新規業者が参加した際に低入札が発生おり、一般競争が機能しているか疑問が出ている。本件については、今後も入札結果を注視して検証を継続されたい。</p> <p>他の3件の案件については、説明を受け概ね適正に入札が行われているものと理解した。</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) ・なし
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・なし	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		・なし	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		・落札率、応札率等の分析結果の報告を行った。	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・なし	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		・なし	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件事案なし			

令和元年度 入札監視委員会議事概要

陸上自衛隊弘前駐屯地、岩手駐屯地

開催日及び場所	令和元年12月10日(火) 仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長：鈴木利夫(大学教授) 委員長代理：赤石雅英(公認会計士・税理士) 委員：伊東満彦(弁護士) 委員：石綿はる美(大学院准教授)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	弘前駐屯地、岩手駐屯地：平成30年4月1日～平成31年3月31日		
審議対象件数	8件		
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	2件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議	
建設工事	一般競争		0件
	一般競争(政府調達協定対象外)		2件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	企画競争		0件
建設コンサルタント業務等	0件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>○工事 ◇一般競争契約(政府調達協定対象外) 第380会計隊弘前派遣隊(弘前) 【NO. 2建物空調機換装工事】 第384会計隊岩手派遣隊(岩手) 【空調機設置等役務】</p> <p>・弘前駐屯地は空調機換装工事、岩手駐屯地は設置等役務となっているが、その違いはなぜか。 (弘前、岩手)</p> <p>・弘前駐屯地において機材単体での入札はしないのか。</p>	<p>・弘前駐屯地においては、国有財産の空調機を撤去して業者が準備した空調機を設置するという工事であり、岩手駐屯地においては、官側が準備した空調機を換装することを委託した役務となっている。</p> <p>・単体のみでの入札は実施しない。</p>	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・岩手駐屯地では官給品の空調機を設置しているが、その違いがなぜ起きるのか。</p> <p>第384会計隊岩手派遣隊（岩手） 【受水槽補修工事】</p> <p>・高落札率(99.24%)及び1者応札となった理由はなぜか。</p> <p>・受水槽はいつ作られたのか。</p> <p>・今回の補修が初めてなのか。</p> <p>・2回に分けた理由は何か。</p> <p>・1回目の業者は同じ業者なのか</p> <p>・業者が違っていても問題は無いのか。</p>	<p>・国有財産法に基づき管理する物と物品管理法に基づき管理する物の違いであり、岩手駐屯地については、物品として管理されている機材を、中央で一括購入して設置費用のみを役務契約したということである。</p> <p>・落札率が高くなった理由は1者応札となった為であり、1者応札となった大きな理由としては、今年行われたラグビーワールドカップが考えられる。 岩手県の釜石市でも開催されておりその会場等の工事の為にかなりの数の業者が参加しており当方の入札には参加できない旨の回答があった。</p> <p>・平成7年3月に作られており、約23年経っている。</p> <p>・平成29年に1回実施しており今回が2回目である。</p> <p>・この受水槽は2層構造になっており、一度に補修すると断水することになるので、2年に分けて補修を実施した。</p> <p>・違う業者である。</p> <p>・必要な補修、性能を満たすのであれば業者が違うことに問題は無い。</p>
	<p>(総括) 自衛隊による説明を聞いて、入札については、適正に行われている事を確認した。入札結果が疑義をもたれないためにも、引き続き競争性の拡大を希望する。</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談 合 疑 義 件 数		0 件	(審議概要) ・なし
工 事	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
業 務	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意 見 ・ 質 問 ・なし	回 答
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		・なし	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件事案なし			

令和元年度 入札監視委員会議事概要

陸上自衛隊弘前駐屯地、岩手駐屯地

開催日及び場所	令和元年12月10日（火）仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長：鈴木 利夫（大学教授） 委員長代理：赤石 雅英（公認会計士・税理士） 委員：伊東 満彦（弁護士） 委員：石綿 はる美（大学院准教授）

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	弘前駐屯地、岩手駐屯地：平成30年4月1日～平成31年3月31日	
審議対象件数	2,080件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	5件	（審議概要） 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議
一般競争契約	5件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>◇一般競争契約（政府調達協定対象外）</p> <p>第380会計隊弘前派遣隊（弘前） 【NO. 2建物空調機換装工事】 第384会計隊岩手派遣隊（岩手） 【空調機設置等役務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前駐屯地は空調機換装工事、岩手駐屯地は設置等役務となっているが、その違いはなぜか。（弘前、岩手） ・弘前駐屯地において機材単体での入札はしないのか。（弘前） ・岩手駐屯地では官給品の空調機を設置しているが、その違いがなぜ起きるのか。（岩手） 	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前駐屯地においては、国有財産の空調機を撤去して業者が準備した空調機を設置するという工事であり、岩手駐屯地においては、官側が準備した空調機を換装することを委託した役務となっている。 ・単体のみでの入札は実施しない。 ・国有財産法に基づき管理する物と物品管理法に基づき管理する物の違いであり、岩手駐屯地については、物品として管理されている機材を、中央で一括購入して設置費用のみを役務契約したということである。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>第380会計隊弘前派遣隊（弘前） 【精米】 第384会計隊岩手派遣隊（岩手） 【精米】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一財）防衛弘済会は一般的に見て精米を専門的に取り扱っていない業者と思う。また、納期まで10日となっているが、精米施設がない業者がどのように納入できたか説明されたい。（弘前） ・年度末に大量に購入している理由はなぜか（弘前、岩手） ・岩手駐屯地において31年3月に2回大量購入しているが、なぜか。（岩手） ・（一財）防衛弘済会弘前に卸している業者はどこか。（弘前） ・岩手駐屯地において、2つの業者が交互に落札しているがどうなのか。（岩手） ・仕様書に津軽地区産と限定しているが、理由はなぜか。県産でないのではないか。（弘前） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（一財）防衛弘済会については、物品売買の競争参加資格を有している。食堂を経営し、精米業者とも取引があると聞いており、問題がないものとする。 納入の件は、精米施設のある卸問屋と取引をしているために、納入期限までに納入できている。 ・両駐屯地に共通して、次年度当初のランニングストック分として購入している。 なお、昨今の各種災害等に伴う自衛隊の災害派遣の増加を考慮しており、特に弘前駐屯地においては、31年度に米軍との訓練に伴って準備訓練が予定され大量に必要になった。 岩手駐屯地においては、岩手山演習場を管理しており、4月～5月に演習場整備が予定され、大量に必要になったためである。 ・当初の予算では購入予定数量の約半分しか購入できなかったが、その後予算を確保したため2回目の購入を実施した。 ・（A）精米所であり、当該業者は入札参加資格を保有しておらず、一般競争入札には参加していない。 ・入札の事後的検証を実施し、何かしらの規則性がないか今後も注視していく。また、各業者に入札への参加について声掛けを実施していく。 ・地産地消という考え方から限定している。今後検討する。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>第380会計隊弘前派遣隊（弘前） 【重油1種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が100%となったのはなぜか。 ・市場価格の調査をしたのは弘前市内の業者のみか。また製油所は弘前にあるのか。 ・製油所は海側の八戸にあると思うがその地区の業者からの納入のほうが良いのではないか。 ・重油はタンクの量が少なくなったから購入しているのか。 ・蒸気漏れの補修はしないのか。 ・過去5年間受注状況を確認すると3回しか購入していないが、なぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格に市場調査価格を採用しており、その価格と同額で応札があったためと考える。 ・弘前市内の業者のみである。製油所については確認していない。 ・一般競争入札を実施しているが八戸の業者からは応札が無いのが実情である。 ・そのとおりだが、今回はボイラーの蒸気漏れが発生しており消費量が増加したため購入量が増えた。 ・今年度において補修する予定である。 ・基本的には中央で一括調達をしているが、中央での入札が不調となり、取得が間に合わないため、各駐屯地で購入することとなったものである。
	<p>(総括) 自衛隊による説明を聞いて、入札については、適正に行われている事を確認した。入札結果が疑義をもたれないためにも、引き続き競争性の拡大を希望する。</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) ・なし
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問 ・なし	回 答
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		・なし	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件事案なし			